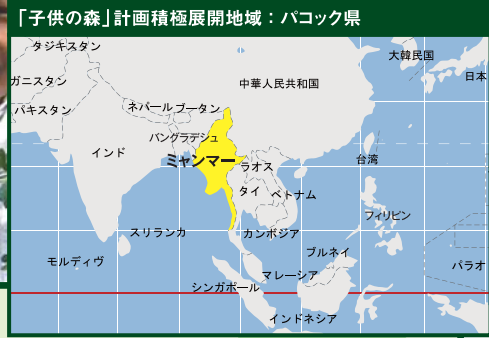


# 「子供の森」計画

in ミャンマー



## 2012年の活動と2013年の展望

子どもたちの「自然を愛する心」を育みながら地球緑化を進める「子供の森」計画。ミャンマーで「子供の森」計画を進めているバコック県は中部の乾燥地帯に位置し、年間降水量が平均500ミリと雨が非常に少ない地域であるため、人々の生活にとって水の確保は非常に重要な課題です。オイスカでは学校への貯水タンク設置などの支援活動も行っていますが、子どもたちの水に対する意識を高めるため、緑化活動やゴミ分別などに加え、水の管理や衛生教育なども行うことにしました。この地域の学校には、床は土のまま壁がなく、屋根はヤシの葉を覆いかぶせただけ、という校舎がまだ多く

あります。このような環境の中で、子どもたちは少ない水資源からどのように衛生的な飲料水等を確保しながら周りの自然をも育てていくか、という難しい課題にチャレンジしています。水への興味をきっかけに、地域に水をもたらしてくれる木や森に関心を持ち、さらなる緑化に意欲を燃やす子どもたちも増えています。これからはさらに活動地域を広げながら子どもたちに森と環境、そして水の大切さを教えていきたいと考えています。

2012年植林実績：植林 **1,564** 本・面積 **0.25** ha  
「子供の森」計画参加学校数：62 校 (2001年からの累計値)

## 2012年までの植林実績



## ミャンマー

- ◆人口：62.417百万人 (2012年IMF推計値 日本は127.896百万人)
- ◆面積：676,578km<sup>2</sup> (総務省統計局資料2010年値 日本は377,950km<sup>2</sup>)
- ◆一人当たりGDP：824.192US\$ (2012年10月IMF試算値 日本は45,869.72US\$)
- ◆森林率：48% (2010年FAO公表値 日本は69%)

ミャンマーの活動を支援して下さる方を募集しています。ご支援や各地域の子どもたちの活動の様子はこちらから

**ベルマークや書き損じはがきも募集しています。**  
ベルマークは1点1円として「子供の森」計画の支援となります。事務局までお送りください。

「子供の森」計画情報提供サイト  
[www.kodomonono-mori.info](http://www.kodomonono-mori.info)



事務局



〒168-0063 東京都杉並区和泉3-6-12  
☎ (03) 3322-5161 ☎ (03) 3324-7111 E-mail [oisca@oisca.org](mailto:oisca@oisca.org)  
<http://www.oisca.org/>





## 楽しく活動していきます!

タンピンチャウン小中学校は、2012年に新たに活動を始めた学校です。2haほどある敷地内にはそれまで十数本の木があるのみでしたが、インドセンダンやネムを中心に205本の木を植えました。また、学校裏の傾斜地に無造作に捨てられ、雨が降るとあちらこちらに流されていたビニールごみも、子どもたちが中心となり拾い集めました。その後、決められた場所に捨てるよう指導し、学校の敷地内の環境は各段に良くなりつつあります。



学校裏の傾斜地でビニールごみを拾い集める子どもたち

さらに、子どもたちは自然と人とのつながりを学ぶために野菜づくりにも挑戦しました。村では野菜がほとんど栽培されておらず、食べたことはあってもそれらがどのように作られている

のかはあまり知られていません。子どもたちは徒歩で片道15分もかかるところにあるため池から毎日水を汲んできては水やりをし、ワクワクしながら野菜を育てました。野菜を収穫できたときはみんな大喜び。それぞれうちへ持ち帰って家族にも報告しました。活動を楽しみながら多くを学ぶ子どもたちの様子を、先生たちも喜びを感じながら見守っています。



大根、白菜、レタス、カリフラワーを育てています



活動がよいよ始まりました



## 子どもも大人も興味津々!

2009年から「子供の森」計画に参加した同校では、これまでに学校の敷地と村の入口に合計320本の木を植えました。1年目に敷地内に植えた木はほとんど枯れることもなく、今ではすっかり大きくなりました。これも、子どもたちが毎日よく木を観察し、手入れをしてきた成果です。いよいよ実が付き始めた5本のパパイヤの木も、子どもたちはその実を数えながら大きくなるのを楽しみに待っていました。ところがある日、心無い人によってパパイヤの木が全部切られてしまうという悲しい出来事がありました。それでも子どもたちはドラゴンフルーツの木を4本新たに植えて、元気を取り戻しさらに大切に育てています。ドラゴンフルーツの木は村でもめずらしく、大人たちも学校まで見



大きく生長した木々が校舎へ続く道へと導いてくれます

ドラゴンフルーツの木を4本新たに植えて、元気を取り戻しさらに大切に育てています。ドラゴンフルーツの木は村でもめずらしく、大人たちも学校まで見

に来るほどの人気ぶり!村の人々も活動と一緒に参加するようになり、木々や自然環境に興味を持つきっかけとなり、自然の役割を理解できるようになってきたそうです。

「子供の森」計画の活動は新しい体験をする機会となり、みな興味津々に次の活動を楽しみにしています。



ドラゴンフルーツの苗を植える子どもたち



植樹後3年が経ち、子どもたちの背丈よりもはるかに高くなりました

## TOPICS

### 「子供の森」のリーダーになるために!

2012年12月、“Love Furusato”をテーマに、ミャンマーでは初のCFPワークキャンプを実施しました。オイスカ・ミャンマー農林業研修センターを会場として、最初に12校24名(低学年)が、次に8校16名(中高学年)がそれぞれ3泊4日のキャンプに参加しました。循環型農業への取り組み、ごみの分別、食事を残さず食べることなど、環境に配慮したさまざまな活動を体験できたことは、子どもたちにはとても刺激的だったようです。最終日の閉会式で迎えに来た学校の先生や保護者の前でキャンプで学んだことをグループごとに発表し、今後それぞれの学校での活動を率先して行うリーダーとなるための第一歩を踏み出しました。

農業体験では、ちょっとびっくりしたけどニフトリにも触れてみました



自然の風景に思い思いの色を塗って、日本の皆さんへ送りました

子どもたちの活動の様子や国情の一部を紹介しています。

他のレポートや地域の情報はホームページをご覧ください。



OISCA CFP

検索